

< 施設配置計画 >

掘割を最大限に活かす建築配置

- ・掘割からの距離を確保し、掘割に極力影を落とさない配置。
- ・建物と掘割の間には、イベントや来館者の憩いの場となる広場を配置。

周辺環境との調和

- ・掘割に近い共用ロビーは高さを抑え、ホールの大きいボリュームは南側に配置。
- ・周辺の住宅地に配慮し、ホールのボリュームをできるだけ離して配置。

建物と駐車場の配置

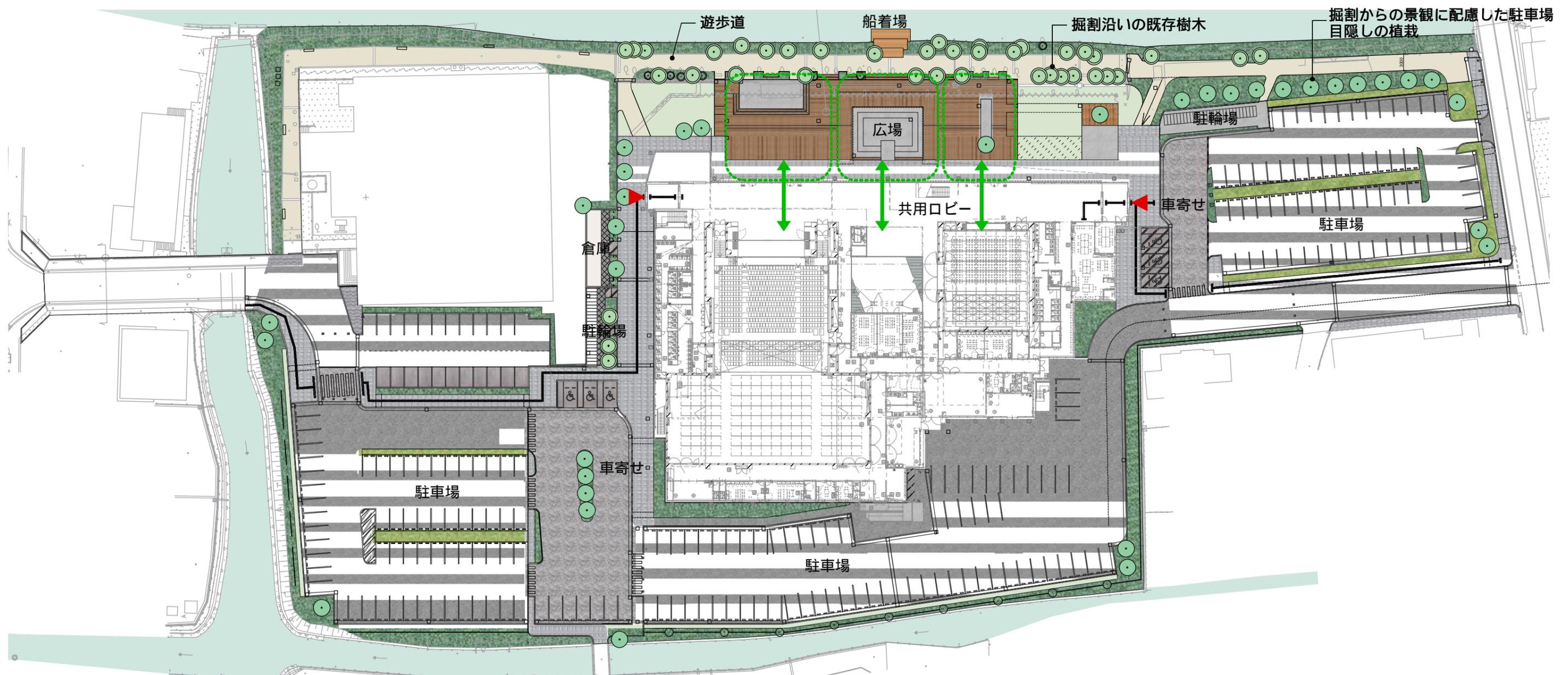
- ・敷地中央部に建物を配置、東西それぞれに駐車場を配置。イベント時の大人数利用に対応し西側に多くの駐車台数を確保。
- ・徒歩圏内の周辺施設と連携し、より多くの駐車台数を確保。
- ・将来的な整備を考慮し、施設東西にエントランスを配置。

駐車場計画・来場者動線

- ・西側駐車場には、敷地外に渋滞を引き起こさないよう入庫待ちの滞留スペースを確保。
- ・東西の駐車場から建物東西それぞれのエントランスへ導入。
- ・掘割沿いの遊歩道から共用ロビーへ入る出入口を配置。
- ・遊歩道を東側の市道まで延伸して整備。

景観に配慮した植栽の配置

- ・柳川の風景を形成する掘割の遊歩道沿いの既存樹木は、極力残しながら計画を行う。



< 平面計画 >

にぎわいと回遊性の創出、利便性、機能性を重視した各施設の配置

- ・掘割側に、共用ロビーを中心とした一般利用ゾーンを配置し、掘割側での活動や回遊性を生む施設構成。
- ・南側は搬入・出演者ゾーンとして明快で機能的な動線計画。

施設の骨格空間となる共用ロビー

- ・施設の主要動線となる共用ロビーには、大きな開口部を設け広場や中庭と連続する。
- ・市民や観光客が気軽に立ち寄り日常的に使える共用ロビー。
- ・ロビーの一部を吹抜として、各施設の配置や動線が認識しやすい構成。
- ・ロビーは情報発信や交流の場として、イベントがない時でもにぎわいを感じられる計画。
- ・東側エントランス近くに事務室を配置し管理がしやすい構成。

施設に光と風をもたらす中庭

- ・ロビーの南側中央部に中庭を配置。北向きのロビーに自然の採光と通風が可能とする。
- ・中庭南側に研修室を配置し、視認性を確保することで一般利用者に動線がわかりやすい構成。

